
平成 23 年度第 1 回恵那市総合計画推進市民委員会

(会議議事録要約版)

日時：平成 23 年 6 月 22 日（水）

14 時 30 分～

場所：消防防災センター

- 1 委嘱書の交付
 - 2 市長あいさつ
 - 3 会長・副会長の互選
 - 4 会議の公開、会議録の公表について
 - 5 議事
 - (1) 推進市民委員会による総合計画の進行管理について
 - (2) 総合計画後期計画の概要について
 - (3) 市民意識調査の結果概要について
 - (4) 総合計画推進市民委員会部会の設置について
-

欠席委員 安藤洋子、柘植智子

(敬称略)

傍聴者 2 名

1 委嘱書の交付

2 市長あいさつ

可知市長 皆さんこんにちは。大変お忙しい中、また暑い中ご出席いただき感謝する。市では、節電のため、気温 28 度で冷房を入れることとしているのでご理解いただきたい。

ただ今委嘱書を交付させていただいた。30 名の皆様方に 2 年間恵那市の総合計画を推進することについて、いわば監視役という形でお願いした。これからは総合計画の後期計画について年次ごとにしっかり行われているかどうか、ローリングされたことについてそれが妥当かどうかということも含めて皆さんでご審議をいただきたいのでよろしく願います。

本市は合併して平成 16 年に誕生したが、平成 18 年度から 10 年間の計画期間を設定して総合計画を策定した。5 年ごとに前期、後期に分けてあり、平成 23 年度からは後期計画ということで、平成 22 年度中に市民の皆さんを中心に後期計画を策定していただいた。この計画に沿って事業を進めていくわけだが、この市民委員会でチェックをしていただくことになるので、よろしく願います。

後ほど計画の概要についても事務局から説明をさせていただく。市民意識調査を行っている。合併して、総合計画をつくる段階で55項目にわたって市民意識調査を行った。無作為抽出で2,500人の方たちを対象に行っているが、平成20年に後期計画の基とすべき調査も行った。これは平成17年度に行ったものと同じ項目で行っている。そして、平成22年度にも同じ項目で行っている。平成17年度は67%、平成20年度は55%、平成22年度は63.4%ということで、大変高い回答率である。恵那市民の皆さんは、行政に対する関心が高いということもいえると思う。これからは毎年この調査を行っていく。担当部長は、私たちの通信簿だとも言っている。これからは意識調査をしっかりと行って、市民の皆さんが何を求めているか知っていきたいと考えている。その都度委員会の皆さんにもお知らせしていく。

これから皆さんにご審議いただいたり、進行状態について意見をいただくわけだが、今の国の状態や経済状況をみると、東日本大震災を受けて、国も大変な状況になっている。経済界においても大変な影響があると思う。今まで計画したように財源が確保できるかは、未知数である。したがって、今までのことができるかということも判断をしていかなければならない時もあると思う。そのようなことも含めて、事業の先送りや見直しも出てくると思うので、そのときは私から皆さんにお願いして、理由を申し上げてそのことについての変更などの審議もいただくことになるのでよろしくお願いしたい。

大変お忙しい方ばかりであるが、恵那市のより良いまちづくりのためにご尽力いただきたい。

3 会長・副会長の互選

- 事務局 会長、副会長の選任をしていただく。設置要綱第5条に会長は委員の互選とし、副会長は会長が指名すると規定されている。どのように取り計らったらよろしいか。
- 委員 総合計画審議会でも会長を務めていただいた、岐阜大学の有本先生に受けていただけたらと思うがいかがか。
- 事務局 会長に有本委員をとこの発言をいただいた。ほかにご意見はないか。会長には有本信昭委員ということで決定させていただいてよろしいか。
- 委員 異議なし
- 事務局 異議なしの声をいただいたので、有本委員に会長をお願いする。副会長は会長の指名となっている。急だが、有本会長に案があればご指名願いたい。

有本会長 ご指名ありがとうございます。昨年まで審議会で副会長をお願いしていた、丸山委員にお願いできたらありがたい。

事務局 丸山委員に異論がなければ、会長の指名ということでお願いしたい。
(了承)

それでは、会長には有本信昭委員、副会長には丸山朝夫委員で決定いただいた。

会長、副会長からあいさつをいただく。

有本会長 私は、全くの市外からの委員ではただ 1 人だと思う。そういったことから、客観的公平に会の進行をということで指名いただいたと思う。お礼申し上げる。

昨年度の最後の審議会を 3 月の末に行った。震災から 3 週間たっていなかった。その際にも震災の影響について申し上げた。新年度が始まり、時間が経過してきているが、震災の影響をますます強く感じている。大学 4 年生は就職活動を始めている。私は 4 人の学生を担当している。例年なら 2 人くらいは内定をもらっている時期だが、今年は内定のなの字もない。震災でサプライチェーンが寸断され、東海地方にも自動車関係を中心に影響が出ている。東北地方の工場が被害を受けた。その後に原発の事故があり、部品とエネルギーの調達網が寸断されたためだ。私が居る学部ができたのが平成 9 年度で、最初の卒業生が就職活動を始めたのが 11 年度末からだ。私の記憶では、そのころが最も厳しい就職難の時代であった。それに匹敵するか、それ以上の就職難の時代になっている。昭和 30 年代中ごろから日本の高度経済成長が始まり、バブル崩壊まで 35 年ほどある。35 年間は何とか経済成長を続けてきた。バブルが崩壊してからは、失われた 10 年といわれた。そのときの印象では、急速に就職が難しくなったということはない。世の中がだいぶ変わってきて、明日の姿が見えなくて、国民共通の日本社会の将来像が見失われたという意味で、失われた 10 年といわれた。それが 10 年では収まらず 20 年になった。これから始まる東日本の復興やエネルギー関係を含めた復興がこれから 15 年から 20 年かかるといわれている。早めの 15 年をとっても失われた 20 年それからあと 15 年たつとちょうど 35 年くらいになる。日本の社会は高度経済成長ということで、国民がある程度国の姿や形や将来の目標を共有できた時代が 35 年。それが失われたといわれ始めて 20 年がたった。それにもう 15 年が失われていくのかいかないのかは、大変大きな問題だ。15 年たつと、かつての高度経済成長をはじめとした成長の時代 35 年と等しい時間が経過してしまう。日本の将来の在り方を決める瀬戸際に我々は立っている。これから 10 年、15 年失われただけでは済まない。次の社会はどのような姿や形をとる社会なの

かということの国民的な共有というものをこれから 10 年 15 年の間にしっかりとつくりあげることが求められている時代ではないかと感じている。本市においても合併してから年数がたっているし、これから 10 年、15 年をどういう市の姿を描くかを多くの市民の共通の地域の姿をつくるかが深刻に問われている時代ではないか。その皆さまのご奮闘に少しでもお役立ちできればありがたいと思い会長職を引き受けた。皆さんの協力をいただき、実りある推進市民委員会を務めさせていただきたい。よろしく願います。

丸山副会長

指名をいただき大変恐縮である。会長に指導をいただき、委員の皆さんのお知恵を拝借しながら一生懸命務めさせていただきたい。

震災の話が出たが、観光協会としても災害派遣を行っている。昨日第 3 次隊が帰ってきて、第 4 次隊が出発をした。月に 1 回くらい東北の方へ出発していて、今後も続けていきたい。そして、このお付き合いを大事にしていきたい。3 次隊が帰ってくる時に気仙沼市から約 500 点の産物を入荷した。明日から「えなてらす」で販売することになっている。釜石も思ったができなかった。「シープラザ釜石」という物産館がようやく再開したが、売るものが何もない。釜石の特産品も何も出てこない状況だそうだ。そのため、内陸の遠野市や一関、花巻市の物を入荷して再開したそうだ。市の職員も釜石へ順番に応援へ行っているそうだ。その労苦に感謝申し上げる。観光協会としてもせっかくのお付き合いなので、釜石や気仙沼市、その他の地域とも大事に絆を保っていきたい。

よろしく願います。

4 会議の公開、会議録の公表について〔全員了承〕

5 議事

(1) 推進市民委員会による総合計画の進行管理について

有本会長

議事に入る前に一言申し上げる。会議の時間は概ね 2 時間を目途とした。本日は開始時間も遅いことと、第 1 回目の会議で、基本的な情報の共有が主なので、できるだけコンパクトに進めていきたい。ご協力をお願いする。

それでは、1 つ目の議第「推進市民委員会による総合計画の進行管理について」事務局から説明をお願いする。

〔事務局による説明〕

有本会長

ただ今の説明に対して、ご質問、ご意見はあるか。

なければ、次の議題へ進めてよいか。

〔質疑・意見なし〕

それでは、2 つ目の議題について事務局の説明をお願いする。

(2) 総合計画後期計画の概要について

〔事務局による説明〕

有本会長 ただ今の説明に対して、ご質問、ご意見はあるか。
 〔質疑・意見なし〕
 では、3つ目の議題についての説明をお願いします。

(3) 市民意識調査の結果概要について

〔事務局による説明〕

有本会長 これまでの内容でも良いので、質問などはいかがか。
委員 昨年度までの、委員会や審議会で積み残された問題点などはあるか。
委員 各部会などでは、事務局が用意した議題だけを審議するのか、各部会で
 すべての施策について議論していくのか。
事務局 後期計画策定の中で審議いただき、課題については「現状と課題」にま
 とめ、課題解決をするための施策や主な事業を掲載している。
 審議する内容は、ある程度事務局から意識調査の結果や施策の実施状況
 をみて課題のあるものを中心に提案させていただくことを予定している
 が、部会の中で委員の皆さんからの提案などもいただきたい。
有本会長 ほかに質問などはあるか。
 〔質疑なし〕
 最後の議題について事務局の説明をお願いします。

(4) 総合計画推進市民委員会部会の設置について

〔事務局による説明〕

有本会長 質問等がなければ、休憩を挟んで部会に移りたい。
 第1回総合計画推進市民委員会の全体会を終了する。ありがとうございました。
 ました。

各部会の開催結果

健康福祉・生活環境部会	
1	部会長、副部会長の選任
2	人口減少対策専門部会担当委員の選出
欠席委員 安藤洋子、近藤良三、	
1	部会長、副部会長の選任 部会長 渡辺 正人 副部会長 宮地 政臣
2	人口減少対策専門部会担当委員の選出 担当委員勝 邦好、平井 一兵
(敬称略)	

都市交流基盤・産業振興部会	
1	部会長、副部会長の選任
2	人口減少対策専門部会担当委員の選出
欠席委員 なし	
1	部会長、副部会長の選任 部会長 市川 美彦 副部会長 山田 基
2	人口減少対策専門部会担当委員の選出 担当委員 金木 真苗、橋本 典明
(敬称略)	

教育文化・市民参画部会	
1	部会長、副部会長の選任
2	人口減少対策専門部会担当委員の選出
欠席委員 柘植智子	
1	部会長、副部会長の選任 部会長 伊藤 保直 副部会長 鎌田 基予子
2	人口減少対策専門部会担当委員の選出 担当委員 宮澤 博光、安永 宗
(敬称略)	